

科目番号	50002	分類	履修者	看護学研究科(共通科目)	学年		
科目名	保健医療福祉システム特論 (Advanced Course in Health and Welfare Systems)				1		
					配当シメタ-		
					後期		
担当者	佐藤潤 他1名	区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連	
<p>【概要】</p> <p>保健医療福祉分野において、看護職が果たすべき役割を理解するために保健医療福祉に係る制度及び政策決定プロセスについて基礎的な知識を深める。また、政策医療におけるネットワークの現状も理解し、実際的にどのようなシステム活用により連携が行われているのか、探索的に学び、理解を深める。</p> <p>国民のニーズに沿う医療・看護の提供のための連携、ネットワークの必要性を理解する。具体的には、保健医療福祉におけるネットワークシステムを理解し、将来的に病病連携、看看連携、医療福祉連携など、新たなシステム構築に向けてのネットワークを創出できるようにする。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病と社会との関係について理解する。 2. 社会保障全体の財政の構造を理解する。 3. 国民のニーズに沿う医療・看護の提供のための連携、ネットワークの必要性を理解する。 4. 政策医療におけるネットワークの理解を深める。 5. 医療・看護における新たなネットワークを考える。 6. 看護における情報管理、情報提供の在り方考える。 						○	1. 患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力
						○	2. 患者の擁護者として活動できる倫理的意識決定能力
						○	3. 看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力
						○	4. 多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1回	イントロダクション 保健医療福祉システムと地域包括ケアシステム						佐藤 他1名
第2回	疾病と社会(エイズ、ハンセン病)						
第3回	リスクの考え方						
第4回	薬害						
第5回	社会保障財政(財政の仕組みと見方、今後の課題)						
第6回	海外の社会保障制度 ー米国の医療制度を中心としてー						
第7回	地域保健に関する制度と法律①						
第8回	地域保健に関する制度と法律②						
第9回	成人および高齢者の保健に関する制度と法律						
第10回	実践現場における保健医療福祉システムの課題(テーマの選定と全体討議) 実践現場						
第11回	場における保健医療福祉システムの課題(グループワーク)						
第12回	実践現場における保健医療福祉システムの課題(グループワーク)						
第13回	実践現場における保健医療福祉システムの課題(グループワーク)						
第14回	実践現場における保健医療福祉システムの課題(課題発表)						
第15回	実践現場における保健医療福祉システムの課題(課題発表)						
事前・事後学習	事前学習: 新聞等、様々な媒体を利用して、保健医療福祉の最近の動向をみっておくこと。 事後学習: 講義の配布資料を参考に、自ら関連のある文献等を探索すること。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み込むこと。						
評価の方法	講義の出席状況(30%)、グループワークの発表内容(50%)、個人レポート(20%) フィードバックは適宜行う。						
参考図書・資料等	講義ごとに資料を配布						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						